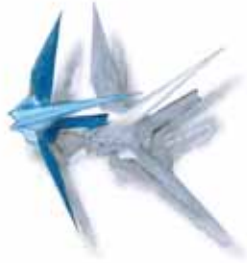


所報



巻頭言 子どもたちと、ともに見つめともに歩む、 学級力向上の取組

早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之

今、子どもたちの学級が危ない。

この20年ばかり続いた学校教育の個別化・個性化の取組は、わかる授業の創造と子どもたちの学ぶ意欲の向上に成果をあげた一方で、子どもの社会性や協力性の育成が図られてきたとは言い難い状況がある。そのため、これからは学習集団づくりや小集団での学び合い活動、そしてグループでの問題解決的な学習の充実が必要になっている。

時を同じくしてここ数年で、学校でのいじめが頻発している。子どもたちの社会性を育て、いじめを発生させない学級づくりを行うためには、学級内での毅然としたルールの徹底、明るく支え合う仲間づくり、授業中でのつながりのある対話づくり、安心して過ごせるやさしい言葉をかけあう関わりづくりなど、全校的な共通理解のもとに、全教職員が一貫した継続的な指導を行うことが求められている。

そのためには、教師が上から力で押さえつける指導でもなく、子どもとのトラブルや衝突を避けて卒業を待つだけの放任主義でもなく、子どもの自己成長や助け合いの意思を意図的に刺激し、教師と子どもたちが協力し合って、学級の現状をしっかり見つめ、そしてよりよい学級をつくるために歩み出す、新しい学級経営の手法を生み出すことが、今こそ必要である。

いいかえれば、認められたいと願い、ほめられれば伸びるという最近の子どもたちの特性を生か

し、教師自身の学級づくりの力量形成を組み込んだ形で、教師と子どもたちがパートナーとなって、明るく前向きに学級づくりに取り組めるような仕組みづくりが、求められているといえる。

これからの学級経営における課題解決には、教師だけでなく学級の子もたちが立ち上がって、「明日からも来なくなる楽しいクラスを作ろう!」「明るくて仲のよいクラスを作ろう!」「ルールが守れて安心できるクラスを作ろう!」という高い意識をもち、子どもたち自ら学級づくりの取組に協働して取り組むようにしてはどうだろうか。

つまり、子どもたちを学級経営に参画させ、子どもたちによる学級力セルフ・アセスメントを通して、仲間づくりの取組を学級力向上プロジェクトとして実施するのである。そのことによって、学級の子もたちの中で正義と勇気が動き出し、自分の欲求不満の解消のために人間関係を壊そうとする邪悪な心を打ち負かし、さらに高い仲間づくりの目標の実現に向けて努力する態度を生み出すことにつながるのである。

広島市の学校で、そうした子どもたちとの協同的な学級づくりの実践研究が深まり、広がっていくことを心から期待したい。



も	○ 巻頭言	子どもたちと、ともに見つめともに歩む、学級力向上の取組	………	p.1
く	○ つながる研修	………		p.2～p.3
じ	○ 校内授業研究協議会の活性化を目的とするサテライト研修を実施して	………		p.4

つながる研修

～研修の成果を子どもの教育に生かすために～

経験年次に応じた研修

初任者研修

研修を自分の実践に生かす
古市小学校
清藤 千恵弥 教諭



多くの研修を受けましたが、特に2点、日々意識して取り組んでいることがあります。1点目は、学習指導についてです。学習指導案の作成や発問の仕方、また児童の発言のつなげ方など具体的に指導していただきました。毎週、学習指導案を作成して授業に臨んでいます。2点目は、生徒指導の基本で、学級の中で「居場所づくり」「絆づくり」が大切であることを教えていただきました。日々、相手を思いやることを事あるごとに児童に語っています。また、「使ったものは、すぐもとの場所へもどす。」「落ちているごみを自ら拾う。」など自分から率先して行い、模範となろうと心がけています。これまでの授業や研修の記録を大切にしながら、これからの授業や研修からも必ず一つ「学び」を見つけ、自分の実践に生かしていきたいと思っています。

教職経験6年次教員研修

生徒の歩みを支えるために
美鈴が丘高等学校
福島 千里 養護教諭



養護教諭の立場で、組織の一員としてできることは何かを考える機会が増えました。傾聴やコーチングによる関わりを通して、生徒たちに悩みやストレスの自己解決ができるように導いたり、教職員間で情報を共有して対応したりする中で、これまで以上に自分の指導力や専門性を高める努力の必要性を感じています。

10年経験者研修

自己の振り返りと、組織の私
亀山南小学校
吉川 洋介 教諭



これまで、「初心忘るべからず」を心がけてきましたが、研修を通して明確に、これまでの自身の教育活動を振り返ったり、自己の姿を客観視したりでき、翌日からの指導に即、生かすことができました。また、組織の中の役割など、10年を過ぎたからこそもつべき視点についても再度考えさせられました。研修を通して見つけた「変わる」きっかけを行動に移していきたいと思っています。

リーダー育成に係る研修

教育活動推進リーダー育成研修

校内研修の充実を目指して
広島特別支援学校
間賀田 京子 教諭



今年度は、教育センターのサテライト研修を経て小・中学部が作り上げた方法を参考に、目指す生徒像や大切にしたいキャリア教育の視点を明確にした「分かって動ける授業づくり」に取り組みました。協議会では、授業のビデオを視聴し、授業の様子を振り返りながら協議を行うことで、回を重ねるごとに多くの気づきが出るようになり、協議が深まっていきました。今後は、協議会で出た意見を活かした、継続的な授業改善ができるような工夫をしていきたいと思っています。

教員長期研修

長期研修での学びを広げる
温品幼稚園
上松 由美子 教諭



6か月間の長期研修で学んだことをもとに、現在園内で、子どもがどれだけ活動に没頭しているかを見取る視点「夢中度」を用いた研修を推進しています。保育者全員で幼児の活動についての見取りを交流し、自分では気付かなかった見取りの視点を得ることができました。また、その子の内面を探ることで、明日からの保育に必要な援助について共有することがこれまで以上にできるようになりました。教師自身の保育に対する「夢中度」が向上し、園全体の協働性も向上していると実感しています。

学校運営推進リーダー育成研修

人を大切にしながら組織を動かす
安佐中学校
宮奥 紀恵 教諭



「触媒となって調整役や推進役を果たすことで『人』を大切にしながら組織を動かす。」これが、本研修を受講し明確になった自己の役割です。自校でも、SWOT分析や学校評価システムを活用した学校の課題を共有する研修会や企画委員会を提案しました。授業研究でも、5部門での研究により職員の参画意識の向上及び人材育成に取り組んでいます。

職務に応じた研修

新任教務主任研修

「教育センター研修」の学びを生かして
袋町小学校
菅川 雄二 教諭



本研修を受講し、教務主任は、教育課程の編成や評価、特別支援学級の教育課程、教頭との連携など、児童、教職員を含めた学校全体のことを視野に入れて職務を遂行する重要な役割であることがわかりました。現在は学習指導要領を踏まえ、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、校長の経営方針に則り先生方の思いを聴きながら業務を行っています。今後は視野を広げ、建設的な発言ができるよう努めていこうと思っています。

新任園長・校長研修

私の「教育センター研修」活用法
温品中学校
内田 智久 校長



「新任園長・校長研修」において作成した「園・学校経営計画の重点化」シートは、現在でも常に見直し、意識するようになっています。このシートを基に学校経営目標達成に向けての実践の具体を考え、取組の進行管理表を作成しました。考えたことを「書面に書き起こす」ことの重要性を再認識しています。また私は、「研修とは人材育成である」と考えています。自校の人材育成計画の中に教育センター研修を位置付け、自校の教員に受講を促すようになっています。

自己研修

土曜開館

教育センターでは、自己研修の支援のため研修の機会を提供しています。

○ 特別セミナー(講師を招いてのセミナー)

第1回

「明日の授業づくり」の学びを生かして
早稲田大学
田中博之教授による講義



早稲田大学
田中博之教授による講義

第2回

Let's Hip Hop,
ダンス・ダンス・ダンス
プロのダンサーによる
ヒップホップダンス体験



プロのダンサーによる
ヒップホップダンス体験

第3回

発達障害のある
子どものホンネ
言語聴覚士等による
発達障害に関わる講義



言語聴覚士等による
発達障害に関わる講義

○ パワーアップセミナー(指導主事によるセミナー)

- 第1回 ここから始める授業づくり～学習指導案づくりの実際～
- 第2回 デジカメから始めよう！CT活用！
- 第3回 子ども心に響く道徳の授業づくり
- 第4回 今からでも遅くない！国語科音読のあれこれ
- 第5回 4月から使ってみよう！英語の発音講座



「子ども心に響く道徳の授業づくり」の様子

校内授業研究協議会の活性化を目的とするサテライト研修を実施して

戸坂城山小学校



戸坂城山小学校は、サテライト研修を受けたことにより、付箋紙を使用した協議会にも慣れ、先生方が日々の授業に生かせるものになってきていると思います。また、常に学校教育目標に沿った協議会をすることで、学校教育目標を意識した授業づくりが行われるようになりました。統一した意識のもと授業研究を行っており、子どもたちも落ち着いて学習に取り組むことのできる環境になっています。今後は、これまでの取組を振り返り、来年度に向け、いかにバージョンアップを図るのか検討しています。



指導主事に指導案検討から関わっていただくことで、協議会では、学級の実態や教師のねらいに沿ったお話を伺うことができました。授業者にとって有用な協議会を行うことができます。学校の雰囲気もとても良いです。今後は、年間を通して、活用シートを使用するなど、先生方が日頃の授業に昇華、還元していく手立てを講じたいと思います。

二葉中学校



サテライト研修を機に、組織的、計画的、継続的に授業研究に取り組むことで、教員の同僚性、協働性が高まりました。先生方の子どもたちの見取りも深まりを増してしているように思います。先生方の授業力の向上が生徒の学力の向上にも少なからずつながっているように思えます。今後は、これまでの成果を全員で共有し、さらに子どもたちに力を付けていく取組を行っていききたいと思います。



サテライト研修を受けて、協議会のノウハウについて細かくアドバイスをいただきました。研究主任として、「生徒のかかわりを深める」「教師の働きかけ」に視点をおいて協議会を行ってきました。協議会の時間は限られていますが、その中で、焦点化し、協議を進められるようになってきました。今後は、教師の働きかけについて生徒の事実に一層注目して、さらに協議が深まるようにするなど工夫をしていきたいです。

広島市教育センター独自のサテライト研修について

各校の研究テーマに迫る校内研修の充実に向けて指導主事が年間を通じて支援を行います。今年度は、全16校(小・中学校、特別支援学校)への支援を行いました。

〈研修内容例〉

- 校内授業研究の進め方と評価についての研修及び支援
- 校内授業協議会の進め方についての研修及び支援
- 学習指導案の作成についての研修及び支援



編集・発行 広島市教育センター

〒732-0068

広島市東区牛田新町一丁目17番1号

TEL (082) 223-3563 FAX (082) 223-3580

E-mail:center@e.city.hiroshima.jp

外部Webページ:<http://www.center.edu.city.hiroshima.jp/>

内部Webページ:<http://10.91.11.102/>



題字:亀崎中学校長 和田 晋 表紙絵:伴東小学校長 岡本 卓博